

完全予約制

病院で
女性がん検診
を受診
できます

女性に 新しい選択肢を。

New Choice

～自分の予定にあわせて女性がん検診～

自己負担額
700～1,500円

一部の対象者は無料となります。

公益社団法人慈愛会と包括連携協定締結に伴い、令和4年度から同医療機関での「子宮頸がん検診・乳がん検診の病院検診（個別検診）」をご利用いただけるようになりました。（事業開始の経緯や予約内容等は右QRコードからご確認いただけます）



詳しくは
WEBサイトから

- 令和5年度女性がん検診のうち、「集団検診」は次の日程で実施しております。
集団検診：9月27日～10月2日、脱漏集団検診：12月16日～18日（対象者には別途ご案内いたします）

1 医療機関 & 検診内容

※受診可能な医療機関は
今後追加・変更になる場合があります。

	医療機関	検診内容		送迎（希望者のみ）
		子宮頸がん検診	乳がん検診	
1	いづろ今村病院	○	○	ご希望者は、鹿児島港（桜島フェリー）鴨池港（鴨池・垂水フェリー）から病院まで送迎いたします。病院予約時に送迎希望をお伝えください。
2	今村総合病院	○	×	

2 検診対象者 & 自己負担額

本市が実施する女性がん検診の「**集団検診**」**未受診者**が対象となります。

	検診内容	対象者	自己負担額
1	子宮頸がん検診	20歳以上の女性	700円
2	乳がん検診	40歳以上の女性	40歳～49歳／マンモ2方向 1,500円 50歳以上 / マンモ1方向 1,000円

自己負担額
が無料
となる方

- ① **70歳以上**の方【事前申請不要】
- ② **市民税非課税世帯・生活保護受給者**の方【無料受診券の**事前申請必要**】
- ③ 子宮頸がん検診を受診する**21歳**の方【本市から送付済の無料クーポン券必要】
- ④ 乳がん検診を受診する**41歳**の方【本市から送付済の無料クーポン券必要】

ご予約方法

詳しくは
WEBサイトから



1 受診票を確認する ※お手元に無い場合は、本市までお問い合わせください。

2 予約を行う ご希望する検診について、医療機関へ直接ご予約をお願いします。

	医療機関	予約先	予約受付時間等
1	いづろ今村病院 □子宮頸がん検診 □乳がん検診	慈愛会健康管理センター 099-226-5066	月～金曜日／10時～17時
2	今村総合病院 □子宮頸がん検診	今村総合病院 099-251-2221	①月～金曜日／午前：9時～12時・午後：14時～17時 ②土曜日／9時～12時 ※左記番号に電話後「産婦人科外来」につないでいただき「垂水市の受診票で子宮がん検診希望」とお伝えください。また女性医師での受診を希望の際は、ご予約時にその旨をお伝えください。
送迎	ご希望者は、鹿児島港（桜島フェリー）鴨池港（鴨池・垂水フェリー）から病院まで送迎いたします。病院予約時に「送迎希望とフェリーの到着時間」をお伝えください。		

3 受診時に必要なもの

- ① 受診票（本市から郵送する受診票）
- ② 保険証（生活保護受給者は不要）
- ③ 自己負担額
- ④ 無料受診券等（下記対象者参照）
- ⑤ 健康ポイントカード

検診内容	対象者	自己負担額
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	700円
乳がん検診	40歳以上の女性	①40歳～49歳 マンモ2方向 1,500円
		②50歳以上 マンモ1方向 1,000円

【注意】次の方は、自己負担額は「減免（全額減免）」することができますが、必要書類が異なります。

No	無料対象者	必要書類
1	70歳以上の方	事前のお手続きは不要です。受診票を医療機関窓口にお持ちください。
2	市民税非課税世帯の方 生活保護受給者の方	「無料受診券」が必要です。原則、受診日の10日前までに申請してください。申請後、後日郵送でご自宅にお送りいたします。 【2つの申請方法】 ①窓口申請／保健課窓口にお越しください。 ②WEB申請／右QRコードからお申込みください。
3	子宮頸がん検診を受診する21歳の方 乳がん検診を受診する41歳の方	「無料クーポン券」が必要です。対象者には、保健課から送付しております。転入・紛失等にお手元ない方は、保健課までお問い合わせください。

ドクターコラム 見逃したくない！ 女性特有のがん



今村総合病院
産婦人科 貴島佳子

仕事・子育て・介護などに毎日忙しく過ごしてらっしゃる垂水市の女性の皆様、がん検診受けていますか？日本人女性になりやすい癌は、1位が乳がん、5位が子宮がんです。13人に1人が乳がんになる時代、年に1回の乳がん検診をしっかりと受けましょう。もし、乳房のしこりやひきつれに自分で気付いたら、検診を待たずに乳腺外科を受診してください。

子宮頸がんは20～50代の若い世代に急増しています。不正出血などの症状が出た時には進行癌、子宮を摘出したたり命に関わることもありえます。20歳から1年に1回子宮がん検診を受けることで、「癌になる1歩手前」で早期発見できれば、1泊2日の小手術で子宮も残せます。

乳がんも子宮がんも早期発見・早期治療がとても大切です。病院でのがん検診では、他の気になる症状も医師に相談できます。自分の予定にあわせた病院での女性がん検診、ぜひご活用ください。